

Platform ISF

エンドツーエンドのプライベートクラウド管理ソフトウェア



次のような問題に悩まされていませんか？

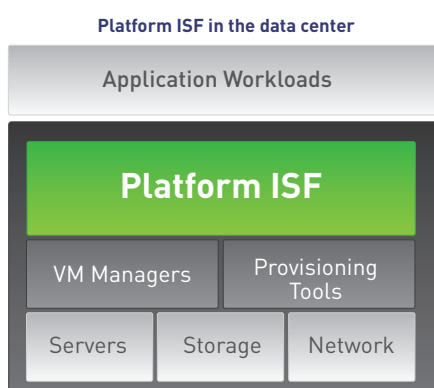
- 柔軟性に欠ける物理および仮想システムのサイロ
- 低いリソース使用率
- アプリケーションが要求するリソースの提供を、手動で実施していて時間がかかる

Platform ISF とは？

Platform ISF は、異種混在の物理および仮想リソースから共有コンピューティング インフラストラクチャを構築し、ワークロード要件とリソース要件を意識したポリシーに従ってアプリケーション環境を提供します。

Platform ISF を使ってインフラストラクチャを共有する理由

- ピーク需要に合わせたインフラストラクチャのオーバプロビジョニング（過剰供給）を解消することにより、設備投資コストと運用コストを削減し、リソース使用率を向上させます。
- アプリケーション要件とサービス レベルを満たす適切なシステムに、ワークロードをタイムリーかつコスト効率よく配置できます。
- 使用率の低いサーバーやデスクトップを獲得したり、外部のインフラストラクチャ サービスへのバースティングを中央制御で実行することにより、設備投資を行わずにアプリケーションの容量をオンデマンドで拡張できます。



Platform ISF の活用事例

テスト / 開発の生産性とインフラストラクチャの使用率の向上

テスト / 開発環境では、中央のインフラストラクチャ担当チームが複数のビジネス ユニットをサポートし、多数の物理マシンや仮想マシンの要求に対応している場合があります。IT インフラストラクチャ担当マネージャーは、提供までの時間が遅いという課題に直面し、サーバー転用の手順にコストと時間がかかるという課題を抱えています。その設定作業の大部分が開発者やテスターの手に任せられるためです。さらに、開発者のニーズと使用可能なリソースのマッチング処理も手動で行われるので、ラボ インフラストラクチャの使用率は極めて低くなります。

Platform ISF を使用すれば、IT インフラ管理者は、使用可能なリソースの共有プール内に試験環境テンプレートを構築することにより、あらゆるテスト / 開発環境に対して仮想サーバーと物理サーバーを割り当てることができます。また、セルフサービスポータルを使用することで、開発者とテスターはオンデマンドで、または予約システムを通してリソースを要求できるようになります。

Platform ISF は、完全なマルチコンポーネントのアプリケーション環境をポリシー駆動で自動割り当てすることにより、ビジネスの優先順位と需要に確実に対応すると同時に、リソース使用率の最適化を実現します。

テスト / 開発チームは、アプリケーション環境を、数週間あるいは数か月先ではなく 15 分以内に取得できるようになります。サイロ環境に起因する容量の無駄遣いや過小利用も最小化されず。開発者は、各種標準やコンプライアンス ポリシーに準拠した、誤りのない、完全に設定された環境を取得することができ、手動のセットアップや再構築作業も解消されます。また、従量課金モデルにより、新規インフラストラクチャへの支出を抑え、需要に基づいた拡張が可能になるので、設備投資コストと運用コストの削減が実現します。

実稼動環境のコンピューティング インフラストラクチャを動的なサービス駆動環境に変える

ミドルウェア (J2EE、Apache)、ビジネス分析、エンタープライズ バッチ、HPC などのアプリケーション コンポーネントを実行する実稼動環境のコンピューティング インフラストラクチャが、俊敏性がなく大変に過剰供給なサイロ環境に導入される場合がよくあります。これは設備予算が企業にとって容認できないほど高くなる原因となります。IT インフラ管理者は、このようなサイロのリソースを有効活用するという課題を抱える一方で、多様な環境、変化し予測不能なワークロード、競合するビジネスの優先順位を背景にアプリケーションチームから要求されるサービス レベルを、現在から将来にわたって維持しなければなりません。

Platform ISF は、ワークロード要件とリソース要件を意識した割り当てポリシーを使用することで、ビジネス要件に応じてリソースの需要と供給をバランスさせます。IT インフラ管理者は、ワークロード要件に従って使用可能な容量を柔軟に拡大・縮小するポリシーを定義することができます。次のことを意識した割り当てポリシーによって、各アプリケーションの個別のニーズに対応することが可能です。

- ストレージ、サーバーモデル、ネットワークポロジニーなどの個別のリソース ニーズ
- 高可用性、冗長性に関する固有のニーズ

組織では、新規リソース追加のコストを負担することなく、より多くのアプリケーションを実行できるので、設備投資コストと運用コストを大幅に削減できます。このようなコスト削減は、相補的なアプリケーション使用パターンを利用して全体的なリソース使用率の向上と最適化を行うことで実現されます。より優先度の高いアプリケーションの要求に応じてリソースを動的に追加できるので、サービス レベルも向上します。

Platform ISF のハイライト

自動化されたセルフサービスによるインフラストラクチャの提供

- 使用状況が追跡され、使用量に応じて課金されるマルチコンポーネントのアプリケーション サービスへのアクセスを、オンデマンド、ポータル経由、および API 経由で実現するインフラストラクチャ サービスを提供できます。

ワークロード要件とリソース要件を意識した割り当て

- 予約によるリソースの保証と最適な割り当てによってリソース使用率が向上し、適切なリソースが適切なタイミングで適切なアプリケーションに割り当てられます。

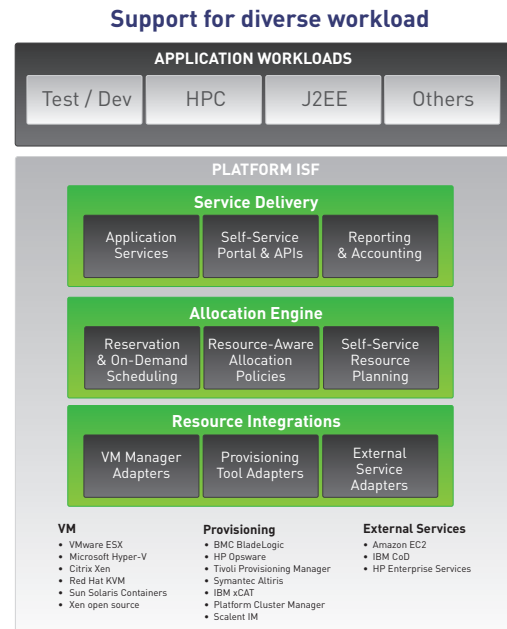
異種混在リソースの統合

- 統一された管理プラットフォームから、仮想環境と物理環境全体にわたる多様なコンピューティング インフラストラクチャの要件を満たし、多数の仮想マシン管理ソフトウェアおよびオペレーティング システムをサポートします。

ホストを 5 台から 5,000 台まで拡張可能

- 必要リソースの大小に関わらず、稼動中にインフラストラクチャを自動拡張してアプリケーションの要求に対応します。

多様なワークロードのサポート



プラットフォーム コンピューティングは、クラスタ、グリッド、クラウド管理ソフトウェアのリーダーとして、17年以上に亘り、最も要求の厳しい、世界 2,000 社以上の一線企業へソフトウェアを提供しています。プラットフォーム コンピューティングのワークロードとリソース管理ソリューションは、エンタープライズ及び HPC アプリケーションに対する IT の俊敏性を高め、コストの低減を実現します。また、プラットフォームは、Cray, Dell, HP, IBM, Intel, Microsoft, Red Hat, SAS と戦略的な関係を築いています。詳しくは、www.platform.com をご覧ください。

プラットフォーム コンピューティング株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビルディング二階 10階

TEL : 03-6302-2901 Fax : 03-6302-2920

E-mail : info-japan@platform.com URL : <http://www.platform.co.jp>